



▲シイラ漁に使う竹製いかだを作る生徒たち



▶牛深ハイヤ踊りの体験

牛深ならではの体験を満喫！

牛深地域で大規模な修学旅行生を受け入れ

5月22・23日、岡山県の倉敷市立南中学校3年生の生徒312人が、牛深地域を修学旅行で訪れました。これは、地元住民や宿泊業者、(社)天草宝島観光協会が、同校から生徒に漁業のまちの生活を体験させたいとの意向を受けて、牛深ならではの体験メニューを企画し、16の宿泊施設で受け入れたもの。同地域で数百人規模の修学旅行生を受け入れるのは今回が初めて。

同22日には、牛深総合体育館で歓迎式が行われた後、生徒たちは班に分かれて養殖いけすでのえさやりや魚釣り、シイラ漁に使ういかだ作りなどに挑戦。また、同23日には牛深ハイヤ保存会の指導による牛深ハイヤ踊りを体験し、楽しいひとときを過ごしていました。生徒たちは、「皆さんが温かく迎えてくれて安心しました。これからの生活にいかしていきます」と話していました。

協力しあうことの大切さを学ぶ

新和小学校・集団宿泊教室

5月17・18日、新和小学校の「集団宿泊教室」が新和緑の村一帯で行われ、5年生の児童23人が参加しました。これは同校が、集団生活を通じて他人を思いやる心を育てようと、毎年実施しているもの。同教室では、新和B&G海洋センターの沖合いでカヌー・ボートの乗船体験が行われ、児童たちは「息を合わせてこがないと、前に進めなかった」と話していました。

また、夕食ではみんなでカレー作りに挑戦するなど、協力することの大切さを学んでいました。



▲ボートをこぐ児童たち



▲花を植える参加者

花いっぱい島へ

御所浦地区振興会・花壇整備事業

6月9日、御所浦町御所浦地区の住民60人が、同地区内4カ所の花壇の整備を行いました。これは同地区振興会が、地域の環境美化を目的に昨年実施しているもの。この日参加者は、昨年植えられた花を掘り起こした後、新たにサルビアやマリーゴールド、ポチュラカなど合計1,400本を植栽。参加者は、「御所浦を花いっぱいの島にして、島を訪れる人たちを迎えたい」と、笑顔で話していました。

温泉の恵みに感謝！

下田温泉祭

5月12・13日、「下田温泉祭」が天草町の同温泉街一帯で開催され、県内外から約8,000人の人出でにぎわいました。これは、同祭実行委員会と下田北地区振興会が毎年開催しているもの。13日には、メインのお湯かけ女神輿やブリのつかみ取り大会、もちなげ、マジックショーなどを実施。同女神輿では、神輿を担いだ女性80人が、沿道からのお湯を浴びながら「ヨーイ、ヨーイ、ヨイヤサー」のかけ声とともに温泉街を練り歩きました。

また、今回は昭和30年ごろに下田温泉街の旅館などで歌われていた「下田温泉小唄」が約50年ぶりに披露されました。



▲お湯を浴びながら神輿を担ぐ女性



▶「下田温泉小唄」の披露



▲講演を行う越地さん

あるもの探して新しい風を

足元からの地域づくりと男女共同参画講演会

6月10日、「足元からの地域づくりと男女共同参画講演会」が市男女共同参画センターばぼらすで開かれ、75人が参加しました。これは、市男女共同参画推進ネットワークつのでネット～風～と市が共同で企画したもの。熊日NIE専門委員の越地真一郎さんが「女がどぎゃんかせんば!!」と題して講演を行い、「女性であることに自信と自覚を持って、新しい風を吹かせてください」と話され、来場者は熱心に聞き入っていました。

熱い戦いに大声援！

かわうらエンジョイミニバレーボール大会

6月17日、河浦まちづくり協議会主催の「第18回かわうらエンジョイミニバレーボール大会」が河浦中央体育館で行われ、5種目に60チーム・約370人が参加しました。昨年は大雨の影響で中止となり、2年ぶりの開催となった同大会では、各チームがスポーツを楽しむという精神のもとで、熱戦を展開。また、この日は「父の日」ということもあり、子どもたちの声援を受けたお父さんたちが、奮闘する姿が見られました。



▲熱戦を繰り広げる参加者